

公益社団法人私立大学情報教育協会  
2022年度第2回FD情報技術講習会運営委員会議事概要

I. 日 時：令和4年12月26日(月) 14:00~16:00

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 参加者：河合担当理事、高木委員長、渡辺博委員、及川委員、渡辺雄委員、中村委員、  
枋尾委員、岩崎委員、井上アドバイザー、渡辺淳アドバイザー、片岡講師  
事務局：井端事務局長、野本

IV. 検討事項

全体会の講演やワークショップの内容を確認し、開催要項を確定させた。

(1) 講習会概要とワークショップ概要について

- ・ 基本部分は承認されたが、下記のタイトル修正などを反映させることで確認された。

(2) 全体会について

- ・ オンライン授業の質保証は、大学は対面授業に戻っており参加者が申込に戸惑うのではないかと。また、オンラインで学生が困っている点、不正行為などの対応について注力して、「授業の質保証のためのオンライン活用法」とした。
- ・ 対面とオンラインを効果的に組み合わせる授業方略は、反転授業の一般的な内容を説明することにし、「対面とオンラインを効果的に組み合わせる反転授業の方略」とした。
- ・ 著作権は、補償金は大学対応が一段落したことから、他の講演で、行って良いか否かの質問や学生が SNS に出してしまう問題などがあり、「授業資料・オンデマンドコンテンツにおける著作権法上の注意点」とした。

(3) ワークショップについて

- ・ ワークショップ1の動画教材作成の紹介は、パワーポイントで動画を作成して配信する内容で、YouTube で字幕を出す方法などを追加して紹介することにし、「動画教材作成の紹介：パワーポイントに字幕を付与したビデオ作成など」とした。
- ・ ワークショップ2の反転授業のデザインは、授業設計と映像制作の内容とし、「反転授業のデザインと予習動画制作」とした。
- ・ ワークショップ3の ICT 活用は、LMS の活用、コロナで出席できない学生対応用にスーパーインポーズ・2D メタバース利用、オンラインの併用にタブレット利用、オンラインや実験の機材紹介とし、「対面・オンラインでの ICT 活用：LMS、2D メタバース、タブレット板書、講義室機器等の紹介」とした。
- ・ ワークショップ4のハイフレックス授業は、定義、授業設計、講義・ディスカッション・個別作業について事例を含めて解説、意見交換する。
- ・ ワークショップ5の多職種連携教育は、各大学でコアカリキュラムを準備しており、そこで多職種連携教育の実践レベルが求められることになっている。まずは教員間で検討できること、多種他分野を知ることを含めて検討してもらおうことで、「オンラインで多職種連携教育を始めよう：医療系分野からの提案」とした。
- ・ ワークショップ6の学修評価方法は、全学的な一般的な内容を「オンライン授業の学修評価方法」として、経済学系授業の事例を「オンライン授業における経済学系授業の学修評価実践」とした。意見交換は、どのような評価方法をしているか、どのような改善が考えられるかなど4人のブレイクアウトで討議させる。

V. 今後のスケジュール

- ・ 1月中旬に開催要項を発信し、研究講習会は、2月27日にオンラインで開催することになっている。